



うまこしゆうせい
馬越裕正議員



人工知能で拡がる可能性
「AI」と愛ある改革を

議員 将来に向けてのAI(人工知能)導入による働き方改革に対する基本的な考え方をたずねる。

市長 市民の幸福度を高めるため、高度情報化社会への進歩に遅れないよう、またAIを市民に役立つ存在としてどのように活用できるか検討していく。その前に、まずは職員の意識改革、人材育成を優先していく。

教育長 学校現場においては、働き方改革を目指した取り組みを積極的に推進している。例えば、何かを授業とする時、他の先生、保護者や地域の人の協力によって準備等を軽減している学校もある。

議員 AIによる試験等で、教育効果を上げている自治体もある。

「教育の笠岡」というイメージアップでの定住促進効果も考えられる。小中一貫教育という発想にとられすぎず検討してはどうか。笠岡市の考え方をたずねる。

教育長 教育で発信をするという中では、形の問題でなく質の問題だと思う。笠岡市はこうしたことをやっているという明確なものがあれば、非常に呼び込む力はあると思う。小中一貫教育を進める中で、質を高めるべく、取り組み内容を精査している。

市長 今、教育審議会で、笠岡に向いた教育方針を、しっかりと検討していただいております、それを見たと上で判断していく。



おおもとますゆき
大本益之議員

ふるさと納税で
良識ある対応を望む!

議員 寄附の返礼額や割合、諸経費、寄附金に対する寄附金積立額の割合の見込みをたずねる。

市長 29年度の見込みは、寄附額が約9億円、返礼品の額は約4億4200万円で割合は約49・2%、また諸経費が約1億5900万円である。それらを差し引いた約3億円、割合にして約33・1%を基金に積み立てる見込み。来年度の目標も約3億円を基金に積み立てることとしている。

議員 総務省通知で趣旨に反する返礼品の中止、寄附額に対する返礼割合を3割以下とするなど良識ある対応を求めているが。

産業部長 他の市町村の情報を収集しながら適切に対応したい。



ベンチャー企業の育成
環境整備を望む!

議員 新たに起業・創業をする入居者を支援するインキュベーションオフィス、都市部のベンチャー企業等の当市入居者を支援するサテライトオフィスの設置は検討されているのか。

市長 笠岡市は自然災害も少なく温暖で暮らしやすい。インターネットの接続環境にも優れている。交通アクセスもよく、サテライトオフィス等の開設には魅力的なまちだと考えており、来年度産業振興ビジョンの見直し作業において、どのようなやり方で産業振興につなげるかを検討する。

※この他「事業の廃止・縮小」「高齢者の雇用・就業の促進」「ヘルスケアの推進」「地域おこし協力隊」等の質問をしました。